

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者		連絡先 3332
部 名	土木部	課 名	下水道整備課	課長名	竹田 幹夫
事務事業名	公共下水道測量設計等委託市単独費事業（市街化区域分）				
予算上の事務事業名	下水道整備課分				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32620	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施策名	第2施策 雨水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	下水道法第3条（管理） 公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。				
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市雨水対策基本計画		「雨に強いまち」さがみはらを目標として、大雨による浸水被害の軽減、解消に向けて効率的かつ効果的な雨水対策事業を実施する。		
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
雨水対策事業を実施するために必要な測量、地下埋設物調査、地質土質調査及び設計を外部委託し、整備工事を円滑に推進する。			市内全域		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
設計委託	1件	5,145,000円			
地下埋設物調査委託	1件	519,750円			
6 関連・類似事業や他市の状況	公共下水道測量設計等委託市単独費事業（市街化調整区域分）				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	9,395	22,174	5,745	24,300	24,300
一般財源	1,795	8,274	915	2,900	2,900
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	7,600	13,900	4,830	21,400	21,400
人件費の合計	6,408	6,456	1,610	1,610	1,610
事業コスト合計	15,803	28,630	7,355	25,910	25,910
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 （または、主たる事業名）	公共下水道測量設計等委託市単独費事業（市街化区域分）			対象名称と単位	委託件数（件）
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト（主たる事業）	15,803	28,630	7,355	25,910	25,910
対象数	4	3	2	1	1
単位あたり経費（円）	3,950,750	9,543,333	3,677,500	25,910,000	25,910,000
前年度比		2.42	0.39	7.05	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	委託完了件数（件）	指標式と指標の説明	委託完了件数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	4.0	3.0	2.0		
目標	3.0	3.0	0.0	1.0	1.0
目標達成度（%）	133.3	100.0	#DIV/0!		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	浸水被害予定解消率（%）	指標式と指標の説明	浸水被害解消箇所数／浸水被害想定箇所数×100 浸水被害が解消される予定箇所数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	4.0	7.0	9.0		
目標	3.0	6.0	6.0	7.0	8.0
目標達成度（%）	133.3	116.7	150.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		委託先のコンサルに技術や知識のアンバランスがあり、成果品の出来にバラツキが見受けられる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			職員の技術的な能力や知識を向上させる必要性もある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			